

✓ 目指す姿

将来にわたって、安定した市民生活を維持するためには、急激な人口減少を避けるとともに、世代間のバランスが取れた、安定した人口構造を実現することが重要である。

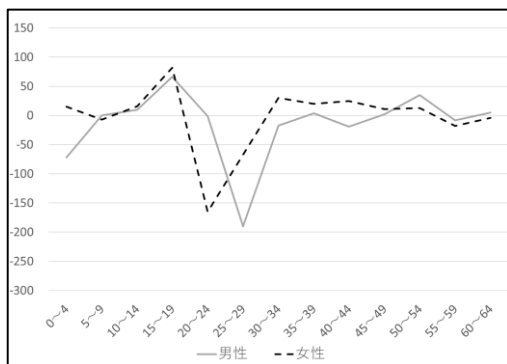
姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」において、「2060年の定住人口 約47万人」を長期的に目指しており、2030年時点の推計値である51.8万人を目指す定住人口と定め、その実現に向けて取り組んでいる。

✓ 課題

本市では、若い世代の東京圏・大阪府への転出超過が続いているが、若い世代に地域の魅力等が十分に伝わっていないことが原因の一つであると認識している。

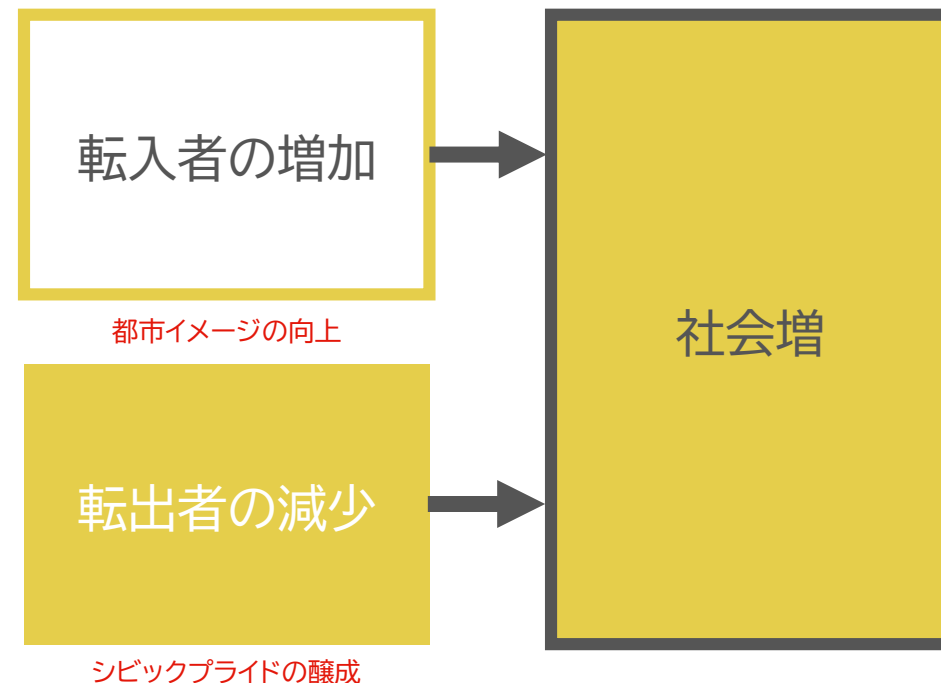
■ 20歳から39歳の転入・転出者数(令和4年10月から令和5年9月)

転入者数	9,441人
転出者数	9,827人
転出超過	386人



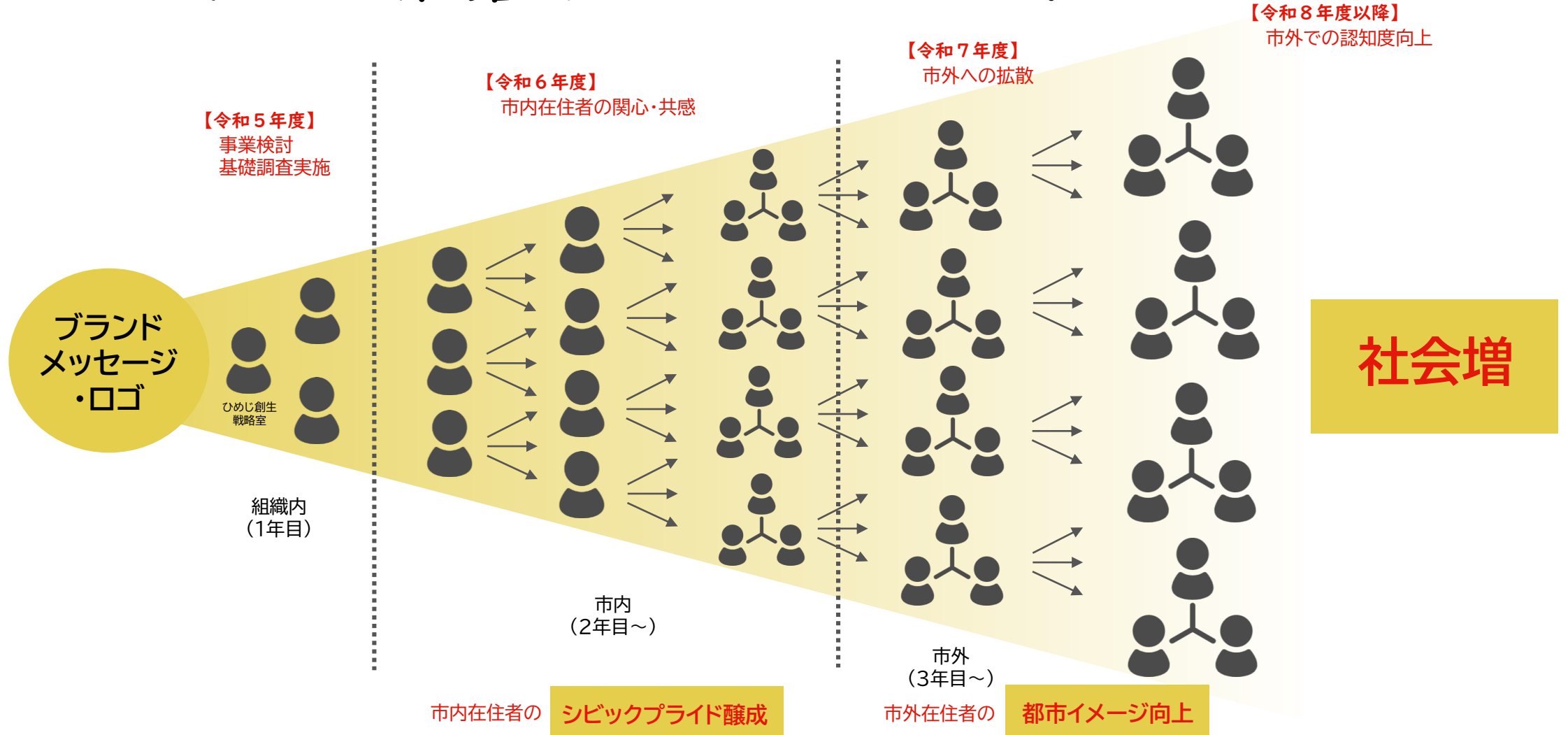
✓ 課題解決の方向性

市民のシビックプライドを醸成し、若い世代のUターンの促進を図るとともに、JターンやIターンの促進にもつなげる。



ふるさとプロモーション イメージ図

✓ オール姫路でのムーブメント



地域の魅力

既存事業
の強み

発掘・創造

整理・編集

姫路市

本市の魅力等を明確にした
ブランドメッセージ・ロゴ

市外へ
発信

市内へ
強力に発信

市外在住者

都市イメージの向上

✓ 転入者の増加

市内在住者による発信

市内在住者

シビックプライドの醸成

✓ 転出者の減少